

# 議長抱負



中田 清介 議長

高山市議会は前任期の4年間を通じて、議会基本条例に基づく開かれた議会、討議する議会を実践してきました。結果として世間から高い評価を受けるまでに成長し、議会改革度ランキングにおいて全国3位となり、人口10万人以下の自治体議会としてトップの水準であります。

評価のポイントは、政策形成サイクルを確実に実践し、政策提言を行ってきたことです。前提となるのが、市民の皆様からいただいたご意見を市政に結びつけ、市政の課題を市民の皆様と共有する事でした。議会の決定プロセスを改革し、一歩ずつ着実に進めたことが評価されたと思っています。しかし議会の目指した姿がすべて叶ったわけではなく、活動として目標に届いていない点もあるため、今一度原点に立ち返り「見える化」、「見せる化」、「話せる化」をさらに進めるよう努力しなければならないと思っています。

今後の課題は次の3点であると考えます。

①「見える化」では、議会の決定プロセスを公開するのみではなく、今後は政策課題を見える化し論点整理を行う中で市民と共有し、課題の克服に当たる姿勢が求められます。そのためには議員間討議の充実が欠かせません。

議会基本条例では議員間討議を進め、合意形成に努めることが規定されていますが、未だ充実感に乏しく議員間討議の充実に向けた工夫と努力が必要であると考えます。

②「見せる化」では、さまざまに努力してその推進を図ってきましたが、その結果としての検証や評価が未実施となっており、今期は着実にその体制を整備し、内部の検証・外部の評価を実行していく努力が求められていると考えます。

③「話せる化」の推進では、これまで地域別、分野別市民意見交換会を重ね、高山市第八次総合計画の基礎調査や提言へ向けた活動に役立ててきました。しかし地域別市民意見交換会では若干マンネリ感もあるため、もう少し細分化して市民や地域の意見を吸い上げることで、きめ細かに政策課題を拾い上げる必要があると感じています。議会から率先して市民や地域のもとへ出かける姿勢が、議会のあるべき姿であると感じています。

本年度はこれらの分野において議員全員の英知を結集し、改革をさらに進めたいと思います。

## 「正副議長選挙に係る所信表明会」を本格実施

高山市議会は、市民にわかりやすく開かれた議会をめざしており、正副議長選挙の際は、正副議長になろうとする者が、議会運営に係る自らの考えを表明する所信表明会を行なっています。今回は、議長選挙では中田清介議員が、副議長選挙では松葉晴彦議員が所信表明を行いました。平成23年から試行を重ねてきましたが、今回からCATV中継やインターネット配信を実施するなど本格的に実施することとなりました。

### 議会の新体制

次のとおり、議長をはじめとする議員役員・委員会等で新体制がスタートしました。

<b>高山市議会議員役員一覧</b>											
<b>議長</b> 中田 清介			<b>副議長</b> 松葉 晴彦			<b>監査委員</b> 倉田 博之			<b>総務厚生委員会</b> 委員長 藤江 久子 副委員長 松山 篤夫		
<b>文教産業委員会</b> 委員長 木本 新一 副委員長 北村 征男 委員 伊東 寿充、山腰 恵一、倉田 博之、上嶋 希代子、中田 清介、今井 武男			<b>議会運営委員会</b> 委員長 車戸 甚一 副委員長 北村 征男 委員 渡辺 甚一、中 篤、橋本 正彦、牛丸 尋幸			<b>基盤環境委員会</b> 委員長 水門 義昭 副委員長 溝端 甚一郎 委員 西田 稔、渡辺 甚一、中 篤、松葉 晴彦、橋本 正彦、谷澤 政司					
<b>広報広聴委員会</b> 委員長 岩垣 和彦 副委員長 中 篤 委員 伊東 寿充、西田 稔、沼津 光夫、橋本 正彦、牛丸 尋幸											